



2025年10月1日発行
1947年10月27日
第3種郵便物認可
発行所/日本YMCA同盟
東京都新宿区本塩町2-11
THE YMCA神戸版
神戸YMCA
〒650-0001
神戸市中央区加納町2-7-11
Tel 078-241-7201
Fax 078-241-7479
www.kobeymca.org
発行人/小澤 昌甲
編集/本部事務局
印刷/石川製本特殊複製株式会社

YMCA News



年間聖句

「あなたがたは世の光である。」
マタイによる福音書5章14節より



神戸YMCA国際協力募金 ～愛の反対は無関心～



国際委員 さかにし たくろう
坂西 卓郎 さん

「愛の反対は無関心」——私が尊敬するマザー・テレサさんの言葉です。「愛」の反対語は「憎しみ」や「怒り」、「恨み」ではなく、「関心すら持たないこと」。関心を持たないことが、貧困や差別などの社会問題を見過ごし、助長する原因となることもあります。逆に言えば「愛」とはすなわち、関心を持ち続けることだと私は思います。



マザー・テレサ像

神戸YMCAの国際協力募金の本質も、そこにあると思います。今回の募金で何かの問題が解決するわけではないかもしれませんが、私たちが「関心を持ち続けている」という事実を示す——それがこの募金の意義であり、私たちの「愛」を表現する機会だと理解しています。

では、私たちの愛と関心はどのようなところに届けられているのでしょうか？2024年度の実績から見ていきたいと思います。

金額の大きい順に並べると

- ・能登半島地震・水害支援募金
- ・神戸YMCA国際奨学金
- ・国際活動リーダーシップ養成
- ・東南アジア農村支援/チェンマイYMCA水害支援

となっています。国際協力募金という名前ですが、最も多くの支援が国内の能登半島に届けられているように、国内の課題にも目を向けているのが特徴です。また奨学金やリーダーシップ養成など、国内外のユース育成にも力を入れています。

また金額は少額ながら

- ・パレスチナ・ガザ支援
- ・オリーブの木キャンペーン
- ・東南アジアこども支援(口唇口蓋裂プロジェクト)

など、海外の現場に直接届ける支援もあり、じつに多様な支援を行っています。また、毎年決まった支援先に届けるのではなく、YMCAの会員を主体に構成される国際委員会で慎重かつ熱い議論を経て決まっていることも特徴です。

そして、今年もまた、この「愛」を表現する機会がやってきました。神戸YMCAでは、10～12月を国際協力募金の強化月間としています。2025年度の受付は、2026年2月28日(土)まで続きます。12月14日(日)には、神戸元町での街頭募金も予定されています。奨学生の皆さんと一緒に街頭に立ち、国際協力募金を呼び掛ける貴重な機会です。ぜひご参加ください。



オリーブの木キャンペーン

全国YMCAサッカー交流会



8月20日(水)～22日(金)の2泊3日で、全国YMCAサッカー交流会に参加しました。この交流会は昨年から行われていますが、神戸YMCAの参加は今年が初めてです。会場の時之栖スポーツセンター(静岡県御殿場市)は神戸と違って涼しく、サッカーをするには最高の場所でした。

東京、横浜、仙台、奈良など全国のYMCAが集う中で、神戸の子どもたちは試合を重ねるごとに成長し、一勝をあげることができました。また、ピッチ上でのふるまいや礼儀など、相手を大切にできたチームに贈られる「フェアプレー賞」を受賞することができました。1位と同じくらい価値のある賞で、子どもたちは驚きと喜びが入り混じった表情でトロフィーを受け取っていました。

ウェルネスセンター学園都市





No.3

ありのままの子どもたちを受容する場

総理事 小澤 昌甲

日本が、人口減少だけではなく、子どもの出生数の減少も止まない現状にあることは既知の通りです。生まれてくる子どもたちの育ちや未来の社会に、必ずその影響があると専門家が警鐘を鳴らして久しいですが、さらにその傾向は進むとも言われています。

子どもの数が減ってきているのに、いわゆる「しんどい子」は増えています。ある中学生に、住んでいるまちにどんな場所があればいいと思いますか？と尋ねると、「中学生だけが集まる場所」「夜遅くまでいても叱られない場所」「静かな場所」…と言っていました。夜遅くまでしていると注意されるだろう、と思う反面、それだけ子どもたちに「自由さ」がないのだという現状を垣間見たのでした。

学校に行って勉強をがんばり、学習塾に行ってさらに知識を得るためにがんばり、成績が向上するようにがんばり、身体も元気で、自分の将来を切り開くことに一生懸命にがんばる子どもの姿を良しとしていることは、大人の心のどこかに備わった一つの価値観かと思います。

しかし子どもたちが、その大人の価値観、親の価値観を深く感じ取り、大人に認めてもらい、大人の笑顔を見るためにがんばっているとしたら、一度きりの人生を生きる子どもたちに申し訳なさや、悲しささえ感じます。

みんなが満足にご飯を食べられて生きていけさえすればいいという社会から、誰もが心から認められる社会にしようとする大人が本気で願うときに、子どもや若者たちは解放されるのではないのでしょうか。「今、ここに生きること」の大切さを、真剣に考える時が来ていると思うのです。



神戸YMCA/YWCA合同祈禱週 ミッション委員会

毎年11月の第2週目の日曜日を起点とする1週間を合同祈禱週とし、1904年以来毎年、世界中のYMCA・YWCAに連なる人々が共に祈りの時を持っています。

今年度は11月9日(日)から15日(土)が祈禱週として定められており、11月11日(火)9時から神戸YMCA2階チャペルにて神戸YMCA・YWCA合同礼拝を守ります。ぜひご参加ください。



昨年の様子：ジョヴァンニ・デア神父(カトリック尼崎教会 主任司祭)

ウェルネスセンター学園都市

サッカー1泊キャンプ

7月28日(月)から29日(火)、小学校低学年(1~3年生)を対象としたサッカー1泊キャンプを実施しました。

外部チームとの合同で、1泊2日、場所は西脇市立青年の家です。初日は合同練習や試合もしましたが、サッカーだけでなく、水鉄砲を使った水遊び、スイカ割りに花火まで、夏にできることを詰め込んだ1日になりました。子どもたちも大はしゃぎ！たくさん笑顔を見ることができました。2日目は打って変わって交流試合。真剣なまなざしで、たくさん試合をしました。

日頃の練習の成果を大いに発揮し、一人ひとりが全力でプレーをしていました。途中、かき氷タイムで身体を冷やしながらか、最後まで戦い抜きました。暑さにも負けず、本当によく頑張った！なにより、2日間を楽しんだ子どもたちが素晴らしい！



ユースプラザKOBE・EAST

英語でみつかる、つながる、よくなっていく

ユースプラザKOBE・EASTは、中高生をはじめとした、地域の方々のためのコミュニケーションスペースです。事業の一つとして、幼児から小学生を対象とした英会話クラスを開講しています。英語で「遊ぶ」「楽しむ」ことを第一に、幼い頃から異なる文化にふれたり、英語で自己表現を行ったりすることを通して、多様性と違いを認める心を育むことを目標にしています。

週に一度の学年別のクラスと、月に一度の学年混合のクラスがあり、メンバーはそれぞれのクラスで、

ネイティブスピーカーの講師と楽しみながら英語にふれています。

未就園児プログラムに参加していたメンバーが英会話クラスに来てくれたり、英会話クラスを卒業したメンバーが、日常的に施設内のフリースペースを利用したり。さらには地域の高校生がボランティアリーダーとしてクラスに参加したりと、このプログラムを通してさまざまなつながりが生まれています。

これからも、英会話を通して「みつかる、つながる、よくなっていく」ことを体現していきます。



西宮YMCA発達支援事業

西宮YMCAでは、2歳から就学前の子どもたちを対象とした児童発達支援事業「まめの木」と、小学3年生から高校生を対象とした「サポートプログラム」を実施しています。

中高生のプログラムでは、個別・小集団クラスやコミュニケーションスキルクラス、マンスリーブプログラムなどを通して、自己理解や社会性の学びに取り組んでいます。

先日、10年ぶりにふらっと西宮ランチを訪ねてき

てくれた卒業生がいました。「ここに来たら先生に会える」と思い出してもらえたこと、そして、卒業したあとも立ち寄れる場所になっていることをうれしく思いました。他にも、大学生や社会人になっても西宮のこともカーニバルを手伝いに来てくれる人や、連絡をくれる人がいます。

これからも、共に過ごした時間や積み重ねた経験が心の支えになってくれたらいいな願いつつ、ここに関わる一人ひとりに寄り添っていきたくと思います。



キャンプサービスセンター

シーカヤックキャンプは主に中高生を対象とした遠征プログラムです。今回もカヤックで無人島に出かけました。キャンプでは「真に民主的であること」を実践します。それは「諦めないこと」でもあります。余島キャンプを開設した名誉主事 今井鎮雄さんは「民主的な社会とは、一人ひとりが意見をもち、意見を言い、互いに共鳴する部分を見出し、新たな方向へと進んでいくことである」と言っていました。余島キャンプは今もこれからも、そのことを実践していきます。

75年の歴史を閉じるこの夏、余島はさまざまな思いでやってくる人々で溢れかえりました。それでも子どもたちは誰も諦めていなかった。カヤックでただ無人島へ向かって漕ぎ続けること。YMCAキャンプ思想の源流である哲学・教育学者 ジョン・デューイは「自己嫌悪している暇があったら前に進め」と喝破しました。真に民主的な営みとは、僕たちは未来を諦めなくて良い、と思えることなのです。だからハレルヤと歌いながらパドルを進めるのです。



ファミリーウエルネスセンター

施 杏梨さんは、台湾の大学に留学中です。この夏も帰国のタイミングでYMCA水泳大会を訪れ、通訳などで奉仕してくださいました。施さんからのメッセージを紹介します。

年中から小学6年生まで、体操・水泳プログラムのメンバーでした。17歳のときにリーダーとしてYMCAに戻り、「リーダーってこんなことやってるんや」と驚きました。リーダーは、子どもたち一人ひとりについて全員で情報を共有します。メンバー時代がずっと楽しかったのは、こんな働きがあったからだ気づきました。

これからも、メンバーとリーダーの距離感はこのままであってほしいです。リーダーは先生やコーチでは

なく、社会のことをちょっと先に知っている人たち。だから子どもたちと同じ目線で関係性が築けるんだと思います。

子どもたちに願うことは、自分のままで生きてほしいということです。人と違うと感ずることはあるかもしれないけど、自分は自分のままで良い、と思えるように願っています。

YMCAはわたしの将来の方向性を変えた場所です。リーダーになり、子どもが大好きになりました。大学の附属幼稚園でボランティアをしたり、発達心理に興味をもつようになったり。これからも、自分の興味のままに突き進もうと思います。自分がやりたいこと、与えられたこと、必要とされることを一生懸命やって、今を楽しみたいと思います。



リーダーからのメッセージ

こくさいのまど

神戸YMCAホームステイプログラム

今回は、神戸YMCAランゲージセンター日本語夏期集中プログラム2025のホームステイプログラムを体験された張 聖 寛さん(台湾)の感想を紹介します。

今回の神戸でのホームステイに、私は大変満足しています。

初日の午後、待合室の椅子に座りながら緊張で胸がいっぱいでした。台湾と日本の文化はもともと異なるため、失礼なことをしてしまわないかと心配だったので。しばらくすると、ホームステイ先のお父さんとお母さんが学校まで迎えに来てくださいました。車に乗り込み、明石にあるお宅へ向かいました。

移動中は簡単な日本語で会話しました。私の日本

語はあまり上手ではありませんが、お二人は嫌な顔ひとつせず、スマートフォンの翻訳アプリを使って会話を続けてくださいました。そのおかげで緊張がほぐれ、心を開いてお話しすることができました。

ちょうどその後の3日間は日本の連休で、一緒に姫路城や動物園、ショッピングモールなどへ出かけました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、気がつけば最終日。夜にはYMCAの送別会があり、皆で食事を囲みながら、笑顔と笑い声に包まれてホームステイは幕を閉じました。

YMCAのホームステイは、本当に温かく、まるで自分の家に帰ってきたかのような心地よさを感じました。次の機会があれば、ぜひまた参加したいと思います。



張聖寛さん(中央)とホストファミリー



YMCA STORY

ホテルマン最高!!!!

1989年3月に神戸YMCA学院専門学校ホテル学科を卒業してから、37年5ヶ月が過ぎ、現在、2025年7月になりました。本当に良い職に就き、幸せな毎日を過ごしております。

YMCAでホテルの勉強を始めた当時は、大きなホテルが少なく、どんどん新しいホテルが開業していた頃でした。バブル期が落ち着き始めた頃で、テレビ、新聞の記事では大変な時期でしたが、ホテルへ来られる方はそれまで通りで、美味しい食事とワインを楽しんでおられました。お客様の中には、オードブルとチーズとワインだけで数十万円を支払われる方もいました。さまざまな方々の表情、笑顔を拝見していると、自然と元気が出てきたことを思い出します。お客様の笑顔をいただけるように、そして、「ありがとう」と言っていたけように、食のことを学び、ワインのことを深く知ること、お客様との会話も増え、毎日が楽しくなってきました。

ANAクラウンプラザホテル神戸スタッフ えび なおと
神戸YMCA学院専門学校ホテル学科卒業生 海老 直人 さん

ある日、当時4歳のお子様が、シャンパンピラミッドのディスプレイに目を向け、私の方を振り返りました。私はお子様を抱きかかえ、いちばん上のグラスにシャンパンを注いでもらいました。お父さん、お母さんも大喜びで、写真におさめていたことも思い出の一つです。そのお子様は立派に成人し、ご結婚のお手伝いをさせていただきました。結婚式では本当に感動しました。

ホテルの仕事は、ときには厳しいご指摘、お叱りも受けますが、心からの笑顔を拝見していると、やりがいを感じます。そして、人は笑顔を見ると元気をいただける気がします。これからも、さまざまな経験を積み、たくさんの方々のお手伝いができればと思います。

私は、YMCAで学び、人生観を新たにすることができ、感謝しております。この「YMCA News」を読まれた方々、何かご要望がございましたら、ぜひ、私、海老までご用命くださいませ。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

ワイズコーナー

明日に向かって

すぎもと たかひと
YMCAサービス・コース事業主査 杉本 隆人 さん
(神戸学園都市ワイズメンズクラブ)

わがクラブはもうすぐ設立35周年を迎えようとしており、チャータードメンバー(設立以来の会員)は2名となりました。振り返ってみると、わがクラブの活動は大きく変化してきましたが、阪神・淡路大震災と共に歩んできたような気がします。

震災から3週間くらいの頃、長田区の水笠通公園で豚汁の炊き出しをしました。長楽小学校(当時)には1万人近くが避難されていて、10合炊きのごはんが10分でなくなり、カレーライスからカレーうどんに変更しました。いろんな失敗を重ねながら炊き出しの段取りに慣れた頃、炊き出しは終了。メンバー相互の結束力だけは強くなりました。

最近では、地域住民との交流を計り、広くYMCAを知ってもらう活動をしています。自治会の清掃活動に参加したり、近隣で音楽活動をしているグループが発表する機会を作ったり、また公開例会として、YMCAにお越しいただき交流を深める活動も行っています。

地域の方々と共に歩み続けるYMCA、ワイズメンズクラブとして、これからもがんばって参りたいと思います。近くにお越しの際は、ぜひ、学園都市YMCAにもお立ち寄りください。

第26回 西神戸YMCA学園都市ワイワイまつり

- ◆日時: 2025年10月18日(土)10:00~15:00
◆会場: 西神戸YMCA学園都市会館
◆内容: ステージ、ゲームコーナー、お楽しみ抽選くじ、のみの市、おやつ・軽食販売など

- ◆入場券: 1人500円(販売中)
※入場券1枚につき、お楽しみ抽選くじを1回引いていただけます。



神戸YMCA三宮会館「秋まつり」

- ◆日時: 2025年10月25日(土)11:00~15:00
◆会場: 神戸YMCA三宮会館
◆内容: 模擬店コーナー、展示物コーナー、ミニコンサートなど



西宮YMCAこどもカーニバル

- ◆日時: 2025年11月1日(土)
◆会場: 西宮YMCA・西宮YMCA保育園
◆対象: 西宮YMCA保育園、西宮つとがわYMCA保育園、香櫨園/浜脇/用海育成センター、まめの木、サポートプログラム、放課後キッズ、YBBの子どもたち(在園児・卒園児)とそのご家族

第27回 神戸YMCAインターナショナル・チャリティーラン2025

神戸YMCAに集まった支援金で「障がいのある子どもたちが、YMCAのキャンプに参加できるように!」との願いから始められました。秋の一日、運動を楽しみながら、障がいのある子どもたちに思いを寄せてみませんか。皆さまのご支援をお願いいたします。

- ◆日時: 2025年11月23日(日・祝)
◆会場: しあわせの村
◆種目: 1/10マラソン、1/100マラソン、グループウォーキングなど
※詳細が決まり次第、ホームページにてお知らせいたします。

神戸YMCA 遺贈制度

神戸YMCAを遺産の受取人に指定し、寄附いただく制度です。神戸YMCAは創立以来、多くの方々の物心両面からのお支えによって先駆的な働きを進めてまいりました。大切な財産を未来に遺し、神戸YMCAが今後も社会に必要な活動を展開できるよう、大切に役立ててまいります。

神戸YMCAの使命

神戸YMCAの願い

私たちは、すべてのいのちが尊ばれ、互いに支え合う平和な社会を創ります。

私たちは、世代を超えた人々が出会い、つながり合う場をつくり、日本YMCA基本原則に基づき豊かな未来を創造する責任ある人を育てます。(神戸YMCA中期計画VISION2030)

Table with 6 columns listing various YMCA centers and their phone numbers.



感謝 寄附・募金

(敬称略、順不同)(前号掲載以降~8/15まで)

寄附

片岡 尹子、株式会社スリーエーネットワーク、カトウユキコ、アベ アキコ、ワイズメンズクラブ六甲部、西宮ワイズメンズクラブ

子ども奨学金

田中 邦康

ミャンマー地震緊急支援募金

宝塚ワイズメンズクラブ

能登半島災害支援募金

YMCA保育園、西神戸YMCA保育園ワイワイまつり

国際協力募金

熊谷 親啓、山本 常雄、豊田 仁気、社会福祉法人頌栄会西鈴蘭台頌栄保育園園長 稲付容子、浜脇学童保護者会

この他にも、多数の寄附・募金等をいただいております。感謝をもってご報告いたします。